

VIII. 2019 年度の取組み

1. 安全重点施策 [2019 年度]

2019 年度も引き続き、以下の 6 項目を安全重点施策とし、年間の教育・訓練計画に基づき、積極的に取り組んでまいります。

- ①安全管理規程に基づく安全管理体制の充実
- ②安全確保を最優先とする企業風土の醸成とコンプライアンスの徹底
- ③事故の芽・ヒヤリハット等に関する取組みの確実な運用
- ④施設・車両の保守及び教育・訓練の管理状況の確認の徹底
- ⑤駅構内における安全性の向上
- ⑥異常時における対応力の強化

2. 安全関連投資計画 [2019 年度]

2019 年度は、以下の安全関連投資計画を確実に実施します。

- ・連続立体交差事業（高架化工事）等の継続推進（東灘連立[住吉川以東]、阪神なんば線淀川橋梁改築）
- ・車両の新造及び武庫川線対応車両の改造
- ・耐震補強の継続実施（野田駅・姫島駅・大物駅等高架橋柱補強）
- ・駅改良工事の継続実施（梅田駅）
- ・ホームドアの整備（神戸三宮駅 2021 年春頃完了予定）
- ・設備更新 等

IX. 鉄道をご利用のお客さま・沿線の皆さまとともに

1. 親しみを持っていただける鉄道を目指して

●小学校へ出張授業

沿線の子どものための社会学習に貢献するため、沿線の小学校で、駅長による出張授業を行っています。阪神電車の歴史や、電車の仕組み、鉄道利用時のマナー、鉄道の仕事などの説明を行っています。



●子ども向け体験型学習「阪神電車まなび基地」を開催

子ども向け体験型学習の場として、「阪神電車まなび基地」と題した親子見学会等を定期的で開催しています。

鉄道の安全を支える仕事として、子どもたちに電車線や線路の保守作業を体験していただいているほか、阪神電車の歴史を紹介するなど、皆さまに地元の鉄道の存在をより身近に感じていただく取組みを行っています。

